

東洋哲学研究所は、人を魅了してやまない、はつらつたる桜の木々に囲まれ、あふれんばかりの学問探究の気風に包まれております。貴研究所は、研究と文献調査・収集、そして高次の学術活動の理想的な拠点として、いつも私を啓発してくれます。

貴研究所が、池田博士の壮大な世界ビジョンの一部として構想されたのは1961年でした。博士の願いは、世界に調和と平和を広げるために、リベラルで、

創立者の壮大な平和ビジョンに敬礼

かつ仏教的な価値観と生き方を普及する信頼される機関をつくることでした。そして今や貴研究所は重要な学術センターとしての存在感を示しておられます。池田博士にとつての仏教は、生き生きとした、力強い、人類の遺産の不可欠の一部であり、仏教者としての博士のビジョンが研究所を導き続けているのです。

創立50周年を明年に望んで、研究所の半世紀の努力と業績を振り返るとき、創立者ならびに関係者は、現

在、世界が認めるその素晴らしい歩みについて、ご自身を祝福すべきでありましょう。

東洋哲学研究所はまた、異なる文化や人々なかならずく青年を結びつけるために、各地の大学・高等研究機関と、息の長い交流関係を築き上げてきたことでも有名です。創立当初から進めてきた青年交流のプログラムは、きわめて独創的で、実り多いものであったことが認められています。教育と研究を通じての「人道的理想の推進」。これ

N・ラダクリシュナン

こそ貴研究所
の幾多の業績

の核心であるように、私は思います。それは、池田博士の夢を継ぎ、戦いを継いで、「新・人間革命」の松明を掲げて走る頼もしき新世代を育てる努力であります。

また東洋哲学研究所は、持続可能な開発と平和的生存にとつて「対話」の役割がいかに大切かを、見事に示してこられたと、私は評価しています。これは池田博士が休むことなく推進してこられた重要な分野です。貴研究所は、多角的な取り組みによって、各世代の研



ニューデリー近郊にある創価菩提樹園での「世界平和の碑」(写真中央奥)の除幕式には、平和を祈る人々がインド各地から集った(2011年1月16日)

究者に率先して良き影響を及ぼしてこられました。この50年で、信頼すべき研究機関であり英知の宝庫であるとの地位を確立されたのです。

この巨大な使命を達成する上で、研究所のインスピレーションの主源泉になってきたのは常に、畏るべき先見の明をもつ創立者でありました。創立者は、戸田城聖氏の忠実な弟子として、「この世から悲惨の二字をなくしたい」との師の念願を果たそうと努めてこられました。池田大作博士は、万人のための正義と、すべての生命への畏敬と尊厳とを確立するために、人類は平和の大計を立てて実行していくべきであると、人々を鼓舞し続けておられます。

創立50周年にあたり、私は創立者のビジョンとリーダーシップに対し、最高の敬礼をお送りいたします。そして、勇気と信念をもって研究所に奉仕していただけるすべての関係者の皆さまに、心からの祝福をお送りしたいのです。

(N. Radhakrishnan / マハトマ・ガンジー

非暴力開発センター所長)